

就職活動日誌

国際社会学科(女)

<内定先>

- ・ 地元 A 市役所
- ・ 選考方法：プレゼン+GD+集団面接、小論文、スポーツテスト、個人面接 2 回

<就職活動の流れ>

● 1 月

- ・ TOEIC 受けた程度。

● 2 月

- ・ 初めて、キャリアセンターの進路相談に予約。
希望する業界も曖昧で、いきなり怒られる。
このときは公務員ではなく（一応）民間志望。
- ・ 合同説明会に行く（宇都宮&仙台）
- ・ ES も書いたり。

● 3 月

- ・ 合同説明会（東京&宇都宮）
たくさんの企業・業界の話聞いたが、自分のやりたいことや入りたい企業とは当然ながら出会えなかった。その会社の利益のために働く、という自分が全く想像できず、民間での就活を強制終了。

→市役所(宇都宮市、地元 A 市、B 市)と外務省在外公館派遣員に絞り勉強。

おもに英語と一般教養、数的処理。

● 4 月

- ・ 宇都宮市の ES を書きながら、まちづくり提案が自分の進路を考える上で大きなきっかけとなったことを再確認。
- ・ 宇都宮市と派遣員の申し込み。

● 5 月

☆宇都宮市一次：不合格

☆派遣員一次：不合格

- ・ A 市の ES 提出、2 回添削をしてもらう。
- ・ TOEIC
- ・ 一番忙しかった月。

● 6月

- ・ A市の一次試験に向けて面接対策。キャリアセンターで8回ほど練習。
- ・ プレゼン・GDのテーマについても考えをまとめる。

● 7月

☆A市一次：合格

- ・ バイトがかなり忙しくなる。
- ・ 二次試験用のES等の作成。

● 8月

- ・ A市二次試験、役員面接が若干圧迫気味で終わってから泣いた。

● 9月上旬

☆A市二次：合格→内定

- ・ 申し込んでいたB市の試験は受けず。就活終了。

<振り返って>

- ・ 最終的には公務員という結果に落ち着いたが、合同説明会でたくさんの企業の話聞いたことは良かったと思っている。
- ・ 自分がこれまで何をしてきたか、これから何をしていきたいかを考えると、志望進路は自然と見えてきた気がする。
- ・ とてもラッキーだったのが、A市役所がとても特殊な選考方法を行っていたこと。そのため、このゼミでやってきたことや面接練習の成果、自分の性格などを大いに生かすことができたし、人事の方にも伝えられたのではないかと思う。

<試験・面接について>

宇都宮市・・・一般教養、面接：志望理由、長所短所、自己PR etc.

A市・・・小論文「あなたが考える『幸せな地域社会』とは」

プレゼン・GD「中高生における登下校時の自家用車での送迎の是非」

スポーツテスト：体力測定、集団競技

面接：A市の新たな魅力とそのPR方法、震災の経験と何を学んだか、志望理由、部活（具体的な功績）、専攻に関して、休学期間のこと、被災地瓦礫受け入れの是非とその説明方法、自己PR、今朝の新聞で気になった記事、A市と宇都宮市の交流について、お酒の席ではどういった役割か etc.

二次ES：A4（白紙）1枚で、自由に自己PR